

報道関係各位

院内がん登録 2018-2019 年 小児 AYA 集計報告書公表 —小児がん中央機関による 2 回目の報告—

2023 年 11 月 15 日

国立研究開発法人国立成育医療研究センター
国立研究開発法人国立がん研究センター

厚生労働省より小児がん中央機関として指定されている、国立成育医療研究センター（所在地：東京都世田谷区大蔵、理事長：五十嵐隆）と国立がん研究センター（所在地：東京都中央区築地、理事長：中釜齊）は、全国のがん診療連携拠点病院、小児がん拠点病院等をはじめとするがん専門施設、地域のがん医療を担う施設において実施されている 2018 年および 2019 年の院内がん登録データを、小児および思春期・若年成人 (Adolescent and Young Adult; AYA、以下、AYA 世代) に特化した集計を行い、報告書にまとめウェブサイトで公表しました。

国立がん研究センター がん情報サービス「がん統計」(報告書)

https://ganjoho.jp/public/qa_links/report/hosp_c/hosp_c_reg_surv/index.html

結果のポイント

- 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センターに収集されている 2018 年および 2019 年診断例のうち、0 歳から 40 歳未満の 83,516 例(前回 83,489 例)を集計対象としました。
- 小児がんの集計対象は、女児(45.2%)よりも男児(54.8%)の登録数がやや多い傾向であり、その一方で AYA 世代のがんの集計対象は、女性(74.8%)のほうが男性(25.2%)よりも登録数が多い結果でした。
- 全登録数に占める初回治療開始例の登録数をみると、小児がんで 68.0%、AYA 世代のがんで 75.8%となっており、その他の年代を含めた院内がん登録全国集計の平均よりやや低い傾向(2018 年例 79.0%、2019 年例 78.6%)でした。
- 小児がんでは、白血病が 30.4%と最も多く、次いで脳腫瘍が 23.0%で、男児、女児別にみてもほぼ同様の結果でした。また、白血病、神経芽腫、網膜芽腫、腎腫瘍、肝腫瘍は 1 歳から 5 歳未満に最も多く、それぞれ腫瘍全体の 38.5%、52.4%、53.3%、60.0%、52.2%を占めていました。
- AYA 世代のがんでは、男性、女性別にみると、15 歳～20 歳未満では患者数にほぼ差はありませんが、20 歳以上では年齢階級が上がるるとともに女性の割合が増加していました。また、男性では癌腫が 36.9%と最多で、胚細胞性他、脳・脊髄腫瘍、リンパ腫、白血病が 8.5 から 14.3%の割合でみられたのに対して、女性では癌腫が 38.0%であり、次いで脳・脊髄腫瘍が 3.3%でした。
- 本集計報告書は、国際的な定義に則った小児がんおよび AYA 世代のがんの統計解析となっていることが特徴です。本報告書が、わが国の小児がんおよび AYA 世代のがん診療の実態を正しく把握するための資料として広く活用されることを期待するとともに、がん患者さんとそのご家族や医療機関等が、治療などを目的に医療機関を選択する際の資料のひとつとして活用されるよう、小児がん中央機関としてこれからも継続して取り組んでいきます。

【小児がん、AYA 世代のがんについて】

• 小児がん

小児がんとは、0 歳から 15 歳未満の小児がかかる様々ながんの総称です。小児が罹患するがんの種類は成人と違いがあり、なかでも白血病が最も多く、他にリンパ腫、脳腫瘍、神経芽腫、胚細胞腫瘍などが主ながんの種類としてあげられます。

• AYA 世代のがん

AYA 世代とは、Adolescent and Young Adult(思春期・若年成人)の頭文字をとったもので、15 歳から 40 歳未満を指します。AYA 世代は、子どもから大人への移行期も含まれるため、小児で罹患することが多いがんと成人で罹患することが多いがんの両方の種類が存在します。そのため、AYA 世代に多いがんの種類は、年代によって違いがあります。

◆ 本集計の概要

全国のがん診療連携拠点病院、小児がん拠点病院等をはじめとするがん専門施設、地域のがん医療を担う施設において実施されている 2018 年および 2019 年の院内がん登録データを、小児がんおよび AYA 世代のがんに特化した集計・分析を行い、今回 2 回目の報告となります。

【収集対象と収集方法】

当該年の院内がん登録全国集計報告書に記載の「I.全国集計調査方法 1.収集の対象と方法」を参照してください。

【集計対象】小児がん 6,898 例、AYA 世代のがん 76,618 例 計 83,516 例

国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センターに収集されている 2018 年および 2019 年診断例のうち、以下の条件を満たすデータ、小児がん 6,898 例、AYA 世代のがん 76,618 例、計 83,516 例を集計対象としました。

- 悪性新生物<腫瘍>及び上皮内癌(性状コード 3, 2)、また脳腫瘍の局在コードが C70.0, C70.1, C70.9, C71.0, C71.1, C71.2, C71.3, C71.4, C71.5, C71.6, C71.7, C71.8, C71.9, C72.0, C72.1, C72.2, C72.3, C72.4, C72.5, C72.8, C72.9, C75.1, C75.2, C75.3 の良性及び良性又は悪性の別不詳(性状コード 0, 1)、消化管間質腫瘍, NOS(組織型 8936)の良性又は悪性の別不詳(性状コード 0, 1)、卵巣の境界悪性腫瘍(性状コード 1)の一部
- 0 歳から 40 歳未満

◆ 小児 AYA 集計

【結果概要】

- 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センターに収集されている 2018 年および 2019 年診断例のうち、0 歳から 40 歳未満の 83, 516 例(前回 83,489 例)を集計対象としました。
- 小児がんの集計対象は、女児(45.2%)よりも男児(54.8%)の登録数がやや多い傾向であり、その一方で AYA 世代のがんの集計対象は、女性(74.8%)のほうが男性(25.2%)よりも登録数が多い結果でした(表 1)。
- 全登録数に占める初回治療開始例の登録数をみると、小児がんが 68.0%、AYA 世代のがん 75.8% となっており、その他の年代を含めた院内がん登録全国集計の平均よりやや低い傾向(2018 年例 79.0%、2019 年例 78.6%)でした(表 1)。

表 1 小児がん、AYA 世代のがんの集計対象者内訳

	小児がん(0 歳～15 歳未満)				AYA 世代のがん(15 歳～40 歳未満)			
	がん診療 連携拠点 病院等	小児がん 拠点病院	県推薦 病院 +任意 病院	全体	がん診療 連携拠点 病院等	小児がん 拠点病院	県推薦 病院 +任意 病院	全体
集計対象施設数	329	15	139	483	435	15	410	860
全登録数 (集計対象)	4,236	2,050	612	6,898	56,735	3,630	16,253	76,618
男	2,318	1,115	350	3,783	14,506	1,216	3,609	19,331
女	1,918	935	262	3,115	42,229	2,414	12,644	57,287
上皮内癌等を 含まない	3,520	1,642	499	5,661	35,245	2,691	8,826	46,762
自施設初回治療 開始例	2,764	1,560	364	4,688	43,592	2,548	11,922	58,062
(全登録数に占め る割合, %)	65.3	76.1	59.5	68.0	76.8	70.2	73.4	75.8

◆ 小児がん集計

【集計方法】集計対象 483 施設 4,688 例（前回 469 施設 4,534 例）

- 0 歳から 15 歳未満までの「自施設診断・自施設初回治療」、「他施設診断・自施設初回治療」の自施設初回治療例データ 483 施設 4,688 例を集計対象としました。
- 国際小児がん分類(International Classification of Childhood Cancer:ICCC)第 3 版/WHO2008 改訂版に基づき集計しました。

【集計結果】

- 白血病が 30.4%と最も多く、次いで脳腫瘍が 23.0%であった。男児、女児別にみてもほぼ同様の結果でした(表 2)。
- 0 歳から 1 歳未満では変換不能が 25.0%であり、次いで白血病 18.3%、脳腫瘍 16.2%、神経芽腫 10.5%でした。1 歳から 5 歳未満と 5 歳から 10 歳未満では白血病が最多で 39.3%と 34.5%、次いで脳腫瘍が多く 18.5%と 29.4%を占めていました。10 歳から 15 歳未満では脳腫瘍 25.7%、白血病 24.3%と、わずかだが脳腫瘍が白血病より多い結果でした。
- 白血病、神経芽腫、網膜芽腫、腎腫瘍、肝腫瘍は 1 歳から 5 歳未満に最も多く、それぞれ腫瘍全体の 38.5%、52.4%、53.3%、60.0%、52.2%を占めていました。

◆ AYA がん集計

【集計方法】集計対象 860 施設 58,062 例（前回 844 施設 58,837 例）

- 15 歳から 40 歳未満までの「自施設診断・自施設初回治療」、「他施設診断・自施設初回治療」の自施設初回治療例データ 860 施設 58,062 例を集計対象としました。
- AYA がん分類(AYA Site Recode/WHO2008 改訂版)に基づき集計しました。

【集計結果】

- 癌腫が最も多く 37.8%、脳・脊髄腫瘍が 4.9%でした(表 3)。癌腫の内訳をみると、乳癌が最も多く 26.5%、次いで子宮頸部・子宮癌が 19.7%でした。
- 男性、女性別にみると、男性が 13,346 例、女性が 44,716 例であり、女性が全体の約 77%を占めていました。男性では癌腫が 36.9%と最多で胚細胞性他、脳・脊髄腫瘍、リンパ腫、白血病が 8.5 から 14.3%みられたのに対して、女性では癌腫が 38.0%であり、次いで脳・脊髄腫瘍が 3.3%でした(表 3)。

- 男性、女性別に癌腫の内訳をみると、男性では、結腸・直腸癌が最も多く 28.1%、次いで甲状腺癌が 14.4%、女性では、乳癌が 34.2%と最も多く、次いで子宮頸部・子宮癌が 25.4%でした(図 1)。

表 2 小児がん自施設初回治療例のがん種内訳

	男児		女児		総数(0歳～15歳未満)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
総数	2,556	100%	2,132	100%	4,688	100%
白血病	800	31.3%	623	29.2%	1,423	30.4%
リンパ腫	293	11.5%	165	7.7%	458	9.8%
脳腫瘍	576	22.5%	501	23.5%	1,077	23.0%
神経芽腫	143	5.6%	107	5.0%	250	5.3%
網膜芽腫	81	3.2%	54	2.5%	135	2.9%
腎腫瘍	35	1.4%	40	1.9%	75	1.6%
肝腫瘍	54	2.1%	36	1.7%	90	1.9%
骨腫瘍	100	3.9%	76	3.6%	176	3.8%
軟部腫瘍	77	3.0%	85	4.0%	162	3.5%
胚細胞腫瘍	150	5.9%	167	7.8%	317	6.8%
その他の癌	55	2.2%	86	4.0%	141	3.0%
その他	10	0.4%	14	0.7%	24	0.5%
変換不能	182	7.1%	178	8.3%	360	7.7%

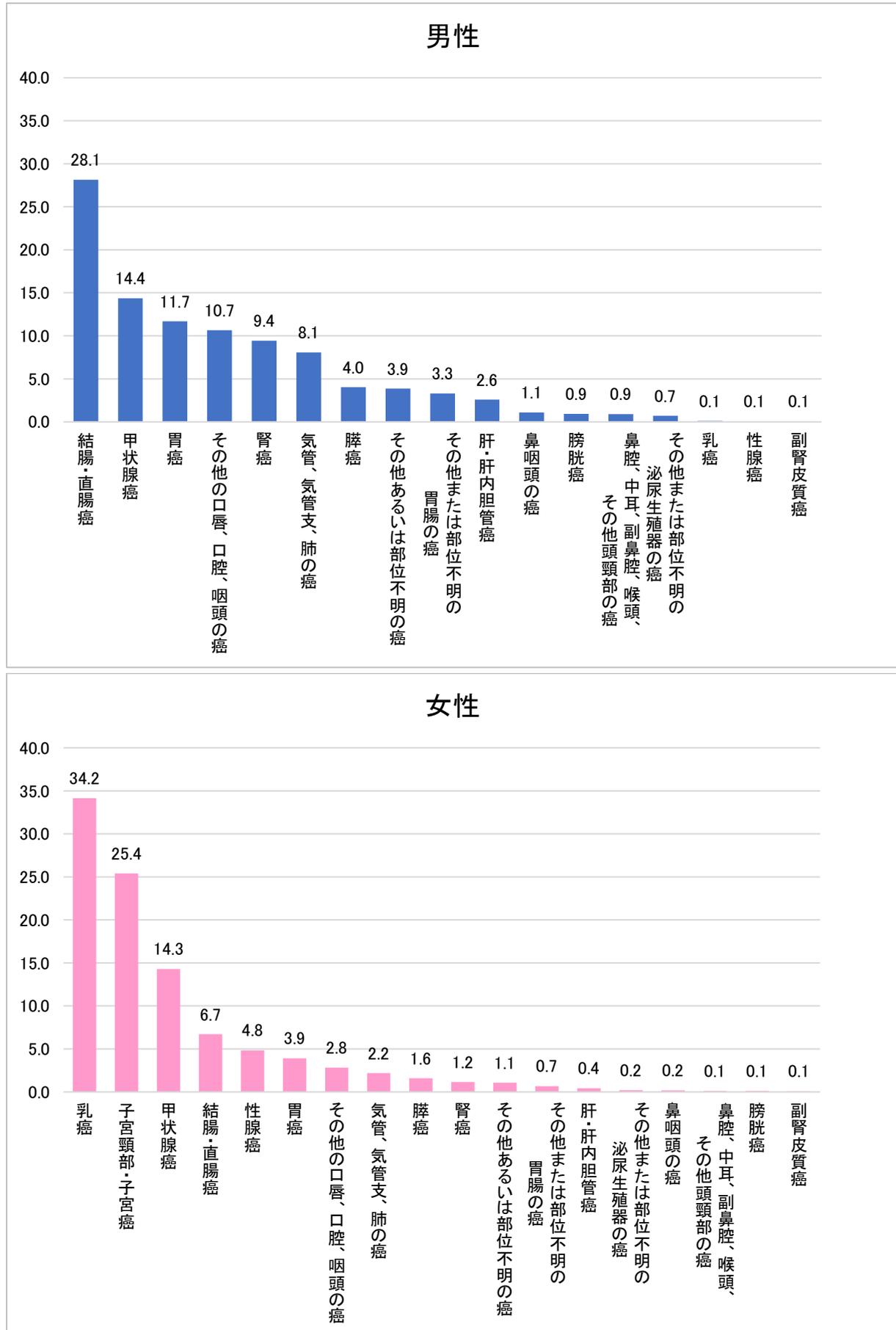
注1) がん種の性別、年齢階級別の詳細情報は、報告書の表 3-1-1 から表 3-2-2(11 から 14 ページ)を参照ください。

表 3 AYA 世代のがん自施設初回治療例のがん種内訳

	男性		女性		総数(15歳～40歳未満)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
総数	13,346	100%	44,716	100%	58,062	100%
白血病	1,131	8.5%	756	1.7%	1,887	3.2%
リンパ腫	1,150	8.6%	957	2.1%	2,107	3.6%
脳・脊髄腫瘍	1,399	10.5%	1,459	3.3%	2,858	4.9%
骨・軟骨腫瘍	223	1.7%	148	0.3%	371	0.6%
軟部肉腫	438	3.3%	427	1.0%	865	1.5%
胚細胞性他	1,913	14.3%	491	1.1%	2,404	4.1%
黒色腫・皮膚癌	234	1.8%	264	0.6%	498	0.9%
癌腫	4,922	36.9%	17,004	38.0%	21,926	37.8%
その他の癌新生物	453	3.4%	528	1.2%	981	1.7%
分類不能の悪性新生物	81	0.6%	74	0.2%	155	0.3%
変換不能	1,402	10.5%	22,608	50.6%	24,010	41.4%

注2) がん種の性別、年齢階級別の詳細情報は、報告書の表 4-1-1 から表 4-2-2(16 から 20 ページ)を参照ください。

図1 AYA世代のがんの癌腫の内訳、男女別



◆ 用語の説明

- **がん**

ひらがなの「がん」は、癌(癌腫)、肉腫、造血器腫瘍の悪性腫瘍全体を指します。

- **癌または癌腫**

漢字の「癌」または「癌腫」は、上皮性悪性腫瘍を指し、上皮細胞から発生する悪性腫瘍に限定して使用されます。また、上皮に留まる悪性腫瘍を「上皮内癌」、上皮から脂肪や筋肉、血管等へ浸潤する悪性腫瘍を「浸潤癌」と呼びます。

- **がん種**

がんの種類のことを指します。

注3)スライド資料「2018-2019年 院内がん登録小児 AYA 集計 報告」の15ページを参照ください。

◆ 参考資料

- がん診療連携拠点病院等院内がん登録 2018 年全国集計報告書(PDF ファイル)

https://ganjoho.jp/public/qa_links/report/hosp_c/pdf/2018_report.pdf

- がん診療連携拠点病院等院内がん登録 2019 年全国集計報告書(PDF ファイル)

https://ganjoho.jp/public/qa_links/report/hosp_c/pdf/2019_report.pdf

【報道関係からのお問い合わせ先】

◆ 報告書について

<小児 AYA 集計報告書について>

国立開発法人 国立成育医療研究センター

小児がんセンター 小児がんデータ管理科

担当:加藤実穂

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

TEL:03-3416-0181(代表) E-mail:nch-cca@ncchd.go.jp

<院内がん登録関連について>

国立研究開発法人 国立がん研究センター

がん対策研究所 がん登録センター 院内がん登録分析室

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

ダイヤルイン:03-3547-5201(内線 1600) E-mail:hbc_r_analysis@ml.res.ncc.go.jp

◆ 取材のお申込み・その他全般について

国立開発法人 国立成育医療研究センター 企画戦略局 広報企画室

担当:村上幸司・神田幸江

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

TEL:03-3416-0181(代表) E-mail:koho@ncchd.go.jp

国立研究開発法人 国立がん研究センター 企画戦略局 広報企画室

担当:がん対策研究所 がん登録センター 院内がん登録室 高橋ユカ

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

ダイヤルイン:03-3547-5201(内線 3548 担当:高橋)

TEL:03-3542-2511(代表) E-mail:ncc-admin@ncc.go.jp